

とよあけ

市議会だより

No.250



TOYOAKE

特集 議会報告会

令和4年12月定例会議会

2023年
2月号

「大好きな景色(水鏡)」
写真 竹内 愛さん(西川町)



特集

議会報告会2022

11月26日（土）勤労会館にて
豊明市議会報告会2022が開催されました。
市民の皆様にご参加いただき、
議会へのご意見など伺いました。

報告会にご参加
いただいた皆様へ
三浦議長より
感謝の言葉と挨拶

第1部 各常任委員会の報告

総務委員会の報告内容



①光熱水費の増額補正(庁舎の電気・ガス料金)

世界的な燃料費の高騰などの影響により2,241万円の増額補正。尾三地区での共同購入により大手電力会社の標準価格よりは安価。

②豊明市民間活用事業推進審査委員会設置条例の制定

公共施設等の整備を行う際、民間の資金・経営能力・技術的能力等を活用する方法をPFI手法といいます。市がこのPFI手法にて公共事業を発注する際に、事業が適正かどうか審査する委員会を設置する条例。

健康福祉委員会の報告内容



①入院にかかる子ども医療費の拡大

令和4年10月から、入院にかかる子ども医療費の助成対象年齢を18歳年度末まで拡大。

②出産育児給付金

新型コロナウイルスによる影響が長期化し、物価高騰の中で、感染リスクなど、様々な不安やストレスを抱えながら出産されたご家庭を応援するためのもの。

③保育事業おむつ回収

現場の保育士、保護者からも、使用済みおむつ回収についての要望は以前より、多くあったため。

建設文教委員会の報告内容



①農産物の肥料購入補助

肥料高騰により、農業者への肥料購入補助を行う補正予算。

②地元応援割引券

地域経済の喚起や市民生活の支援を目的に、300円に対して200円の割引を適用できる券を全市民に1人1,000円分の配布。

③学校給食費の引下げ

子育て世帯に対する経済的な支援として1食40円分を支援。

④みんな元気なプロジェクト

令和4年3月に中学を卒業した生徒に出身中学校からはがきを送る事業。

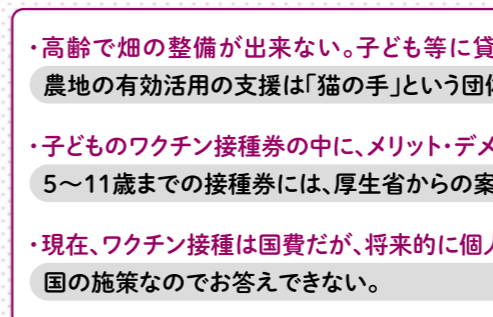
第2部 意見交換会

総務委員会 意見交換〈主な意見〉



- ・指定管理などは議会がもっと関与して監視するべきでは。
- ・民間への委託や指定管理PFIは市長の方向性なのか？
財政負担の面からメリットがあるため、この流れは全国的な傾向である。
- ・教育や福祉関係は責任をもって行政が担うべきでは。
- ・保育園の民間委託は大丈夫なのか？
多くの保育園を手がけている実績のある事業者が参入している。
- ・今回の審査委員会設置条例について。市民の声が反映されるような制度になってほしい。

健康福祉委員会 意見交換〈主な意見〉



- ・高齢で畑の整備が出来ない。子ども等に貸出しは出来るか？
農地の有効活用の支援は「猫の手」という団体が行っている。
- ・子どものワクチン接種券の中に、メリット・デメリット等の内容を入れてほしい。
5～11歳までの接種券には、厚生省からの案内を同封している。
- ・現在、ワクチン接種は国費だが、将来的に個人負担となるのか？
国の施策なのでお答えできない。

建設文教委員会 意見交換〈主な意見〉

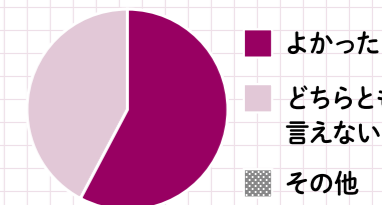


- ・給食費が払えない家庭が増えている。
値下げだけでなく、給食費ゼロを目指してほしい。
現状、生活困窮世帯には就学援助として全額補助している。
- ・境川の河川敷は東郷や日進の方面は整備されている。
豊明はどうして整備されないのか。
伐竹等については、県が5カ年加速化対策の予算で進めている。
- ・都市計画を計画変更するくらいの将来への提案をしてほしい。

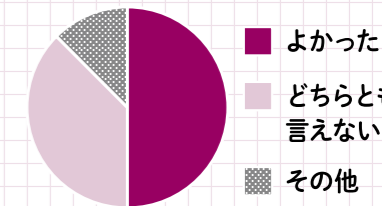
アンケート結果 参加者27名



第1部 各常任委員会の報告



第2部 意見交換会



〈主なご感想、ご提案など〉

- ・第2部の意見交換会の時間を多くして、もっと議員と議論をしたかった。
- ・意見交換会は3つに分けるのではなく、全部に参加したかった。
- ・日頃から、もっと市民と議員が交流して、議員が身近な存在となれば、もっといい豊明市になると思う。
- ・来年は、市政全体の報告や市民の関心が寄せられるものをお願いしたい。

「この度は大変多くの市民の方々にお越しいただいてありがとうございました。」

12月定例月議会議案等の審議結果

12月定例月議会は、11月29日から12月21日までの23日間にわたり開催し、議案20件、議員提出議案3件、決議案1件、意見書案1件、請願1件などを審議しました。

※議長は採決に加わらない ○：賛成 ×：反対 趣：趣旨採択 除：除斥

議案名 (概要)	審議結果	会派名・議員名																			
		清和		市民派の会		未来クラブ		真明		公明党		共産党		たんほほ		ひまわり		孤高			
		服部龍一	青木亮	鵜飼貞雄	近藤ひろひで	毛受明宏	中村めぐみ	林ゆきひろ	ごとう学	清水義昭	宮本英彦	近藤善人	いとうひろし	堀内ちほ	三浦桂司	近藤千鶴	一色美智子	郷右近修	ふじえ真理子	近藤郁子	月岡修一
人権擁護委員候補者の推薦 (近藤厚子氏(沓掛町)を推薦、任期は3年)	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市特別職の職員で常勤の者の給与に関する条例の一部改正 (現市長・市議会議員を除く、常勤特別職の期末手当を引上げ)	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市職員の給与に関する条例の一部改正 (人事院勧告に伴い、市職員給与の引上げ)	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市少人数学級編制の実施に係る任期付市費負担教員の任用等に関する条例の一部改正 (愛知県人事委員会勧告に伴い、市費負担教員給与の引上げ)	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊明市一般会計補正予算(第8号) (子育て応援給付金等約2億1,900万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市文化会館の指定管理者の指定 (株)ケイミックスパブリックビジネスを指定)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定 (地方公務員法の一部改正に伴う関係条例の整備)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市有料駐車場事業特別会計設置に関する条例の廃止 (有料駐車場事業の一般会計移行に伴う特別会計の廃止)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市の議会の議員及び長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正 (物価高騰により、公営規定の上限を変更)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市の議会の議員及び長の選挙におけるビラの作成の公営に関する条例の一部改正 (物価高騰により、公営規定の上限を変更)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市職員の定年等に関する条例の一部改正 (定年年齢引上げに伴う規定整備)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正 (コンビニの多機能端末機で印鑑証明書交付を可能とする)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市都市公園条例の一部改正 (落合・西川公園テニスコートの貸出時間の単位を変更)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊明市一般会計補正予算(第9号) (文化会館の指定管理料等約6億5,100万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算(第2号) (医療費の増加による約8,800万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊明市介護保険特別会計補正予算(第1号) (居宅介護サービス増加等による約1億4,300万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊明市下水道事業会計補正予算(第1号) (職員配置変更による人件費158万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市個人情報保護法施行条例の制定 (個人情報保護に関する法律の一部改正に伴う規定整備)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市個人情報保護審議会条例の制定 (個人情報保護審議会の組織、運営等に関する事項を定める)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和4年度豊明市一般会計補正予算(第10号) (出産・子育て応援交付金等約6,900万円の追加補正)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
専決処分事項の報告(損害賠償の額の専決処分) (自動車と公用車の接触事故。過失割合：市30%、相手70%)	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし																				
専決処分事項の報告(損害賠償の額の専決処分) (沓掛中トイレの網戸が外れ、駐車中の車両を損傷)	報告は採決を行わないので各議員の賛否はなし																				
豊明市議会基本条例の一部を改正する条例 (障がいのある市民等の議会への参画を保证する事項を追加)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊明市議会の議員の定数を定める条例の一部改正 (議員定数を20人から19人に改正)	否決	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案名 (概要)	審議結果	会派名・議員名																			
		清和		市民派の会		未来クラブ		真明		公明党		共産党		たんほほ		ひまわり		孤高			
		服部龍一	青木亮	鵜飼貞雄	近藤ひろひで	毛受明宏	中村めぐみ	林ゆきひろ	ごとう学	清水義昭	宮本英彦	近藤善人	いとうひろし	堀内ちほ	三浦桂司	近藤千鶴	一色美智子	郷右近修	ふじえ真理子	近藤郁子	月岡修一
豊明市議会の個人情報の保護に関する条例の制定 (市議会の保有する個人情報の取り扱いに関する規定整備)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
近藤郁子議員に対し猛省を求め、再度倫理違反を起こさないよう強く求める決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
保育士配置基準改善を求める意見書の提出を求める請願	豊採	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長の欠席に伴い、鵜飼副議長が議長の職務を行ったため、一部採決に加わっていない。
 ※趣旨採択とは、採択に至らないものの趣旨には賛同できることです。

決議

12月定例月議会最終日の12月21日に決議案1件について審議し、可決しました。

◎近藤郁子議員に対し猛省を求め、再度倫理違反を起こさないよう強く求める決議

近藤郁子議員においては、令和3年に、金銭貸借に係る対応が豊明市議会議員としての品位を損ない市民の信頼を欠く行為として、豊明市議会議員政治倫理審査会にて取り扱われ、また一連の対応が市民の皆様にご迷惑を及ぼした一因となったとして、豊明市議会では、令和3年12月22日に「近藤郁子議員に対し反省を求める決議」を議決している。

しかしながら令和4年12月10日の新聞紙上においては、報酬及び期末手当の仮差し押えが決定した内容の記事が掲載されており、豊明市議会議員政治倫理条例第4条第1号及び第3号の倫理基準に抵触しているとの審査請求により、12月19日に政治倫理審査会が開催された。その結果、第9条第7項第3号に規定する一定期間の議会出席の自粛勧告の措置が適当との結果となった。

豊明市議会議員政治倫理条例は、目的を「市政に対する市民の負託に応えること」とし、その責務として第2条第2項において「政治倫理に関する事実があると疑惑を持たれたときは、自ら誠実に対処し、疑惑を解明するとともに、その責任を明らかにすると努めなければならない」と規定している。

この度の政治倫理審査会では、審査事項について十分な説明責任が果たされておらず、誠に遺憾と言わざるを得ない。近藤郁子議員には、早急に疑惑の解明の説明責任を果たし、猛省を求めるとともに、再度、豊明市議会に対する信頼を損なうことのないよう強く求める。

意見書

12月定例月議会最終日の12月21日に意見書案1件について審議し、可決しました。

◎带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるといわれている。

そこで当市議会は国に対し、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

意見書提出先 厚生労働大臣他1大臣

主な
議案審査の
中から

何がどのように決まったのか



総務委員会

豊明市印鑑の登録及び証明に関する 条例の一部改正

①議案が提出された背景

国が推進している個人番号カード（マイナンバーカード）を利用して、令和5年2月1日より市内のコンビニエンスストア等に設置してある多機能端末機に本人の暗証番号など必要事項を入力することにより、印鑑登録証明書等の申請及び交付を受けることができるようになります。交付手数料は従来窓口と同額で、利便性がよくなります。

②主な答弁

- コンビニエンスストア等では、印鑑登録証明書の他に住民票の写し、所得課税証明書、戸籍の謄本、戸籍の附票が発行できるようになります。
- 暗証番号はマイナンバーカードと別に保管し、キャッシュカードと同様の注意を払っていただきたい。
- 代理人の方からの申請は従来どおり窓口で行います。
- コンビニエンスストア等での発行は、今年度、全体の3パーセント程度を見込んでいる。

③議案に対する主な意見

×の意見

利便性が高まるという点は否定できないが、マイナンバーカード自体の問題が指摘されている中で、国による強制的な普及策に非常に問題がある。

○の意見

日中窓口に来られない方など、必要な時にコンビニエンスストア等ですぐに発行でき、とても便利になる。運用面で安全に気をつけて進めていただきたいと思う。



決 賛成多数により可決しました。今後、多機能端末にて証明書を発行するとき、コンビニ等の従業員を介さずに取得できるようになります。

健康福祉委員会

令和4年度豊明市一般会計補正予算 （第10号）

①議案が提出された背景

この補正予算で行う、出産・子育て応援交付金事業は、0歳から2歳の低年齢期に焦点を当てて、妊娠届出時より低年齢期の子育て家庭に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や、必要な支援につなぐ※伴走型の相談支援の充実を図るため、子育て支援サービスや経済的支援を一体として実施するもの。

※伴走型の相談支援とは、妊産婦それぞれのニーズに寄り添った相談等を充実させる支援。

②主な答弁

- 支給対象者は、令和4年4月以降に出産した全ての方。出産後のアンケートの提出をされた方や面談をされた方に出産応援ギフトとして5万円、子ども1人当たり子育て応援ギフトとし5万円、計10万円を交付する。
- 多胎児の場合は、人数分の支給をする。
- 伴走型の相談支援は、妊娠届出後、妊娠8カ月頃、出産後、乳児訪問の面談を想定している。2歳以降も様々な形で必要な方に支援を継続する。

③議案に対する主な意見

×の意見

意見なし

○の意見

0歳から2歳児の低年齢期に焦点を当てて、妊娠時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援の充実を図るとともに、全ての妊婦、子育て家庭が安心して出産・子育てできるよう円滑な事業の推進を期待し賛成。希望する方に漏れのないよう管理し、面接などの支援も充実を図っていただきたい。賛成。



決 全会一致で可決されました。令和4年4月以降に出産した全ての方を対象に案内が届けられます。事業開始は、令和5年2月1日から。

建設文教委員会

豊明市文化会館の指定管理者の指定

①議案が提出された背景

平成30年度から指定管理制度を活用してきた文化会館は令和5年3月で5年が経過するため、令和4年5月にサウンディング調査を実施、10月に指定管理者審査委員会にて事業者の選定が行われました。審査の結果、株式会社ケイミックスパブリックビジネスが最も高く評価され、候補者となりました。指定期間は令和5年4月から令和10年3月までで、この期間には文化会館の大規模改修も予定しています。

②主な答弁

- 候補者は、特に文化芸術に対する評価点が高く、地域に働きかけて市民とつないでいく提案がありました。その提案が審査で評価されたと考えています。
- 審査委員は9名。文化芸術団体の代表や財務の専門家、学識経験者、市職員、学校関係者で行いました。
- 指定管理者を募集するにあたり、審査委員会で募集要項や仕様書を諮り、指定管理者制度を続けるという結論をいただいています。

③議案に対する主な意見

×の意見

そもそも指定管理者制度を続けるべきかどうかの検討が不十分である。制度を活用していくメリットが少ないように感じる。指定管理者ありきで進めていることは問題。また、リスクに対する考えが不十分であるので反対する。

○の意見

事業内容や文化芸術に関する考え方という点で高い評価をいただいている。豊明市の歴史文化を上手く使っていただきたいという想いも込めて賛成。



決 賛成多数により、文化会館の指定管理者は「株式会社ケイミックスパブリックビジネス」に決まりました。



一般質問

行政のいろいろな問題や施策に対する考え方について18名の議員が質問に立ちました。

その内容（要約）は次のとおりです（文責は各議員にあります）。

詳しくは各議員の欄にあるQRコードから動画をご覧ください。

毛受 明宏 議員

小浮市政約7年半の足跡とこれからの豊明市政の歩みについて



質問の趣旨

新型コロナウイルス感染症拡大が続く中においても、産業、高齢化、安心・安全、市民交流など多くの課題を担当部局とスクラムを組んで取り組んできた小浮市長。約7年半の足跡とこれからの豊明市政の歩みについて、どの様に捉え、今後どの様に進められていくのか。その考え方についてご質問いたします。

答弁

第1目標で人口増は寺池土地区画整理組合の立ち上げ、産業の活性化は柿ノ木工業団地を愛知県企業庁の事業として整備開始、ほかに高齢化対策、子育て支援対策なども計画中である。次の任期4年も引き続き市政を担わせていただき、豊明市が豊かで明るいまちであり続けられるよう努力してまいります。

コメント

県道名古屋岡崎線の整備、地域包括ケア豊明モデルの構築、チョイソコ事業、各種協定締結の推進、ネウボラや放課後児童クラブの拡充、共生交流プラザカラットの開設などは、評価したい。今後は、長年の課題となる境川流域に関わる排水や流水対策とした治水について、さらに深めて考えてほしいと願います。

ごとう 学 議員

電気料金高騰の対策にソーラー自家発電を



質問の趣旨

エネルギー価格の上昇で電気料金が高騰して市の負担増が1億円を超え、中長期的にも高値安定が続くと思う。公共施設の屋根や駐車場、ため池にソーラーパネルを設置し、自然エネルギーを売電ではなく自家消費してはどうか。電気料金の節減と国の国際公約であるCO₂の46%削減への貢献という一石二鳥の対策になる。

答弁

基本的に同じ意見である。大きな農業用ため池に新たにソーラーパネルを張る方向だ。公共施設なども、やれることはやっていきたい。



豊明市水上メガソーラー発電所（若王子池）

コメント

ソーラー発電関係者に幅広く聴き取りをすると、①初期費用は自家消費なら約10年で回収できる、②今は売電から自家消費がトレンド、③一部自給でも契約電力量減で料金が大幅に下がる、④災害時の業務継続に有効、⑤CO₂削減のイメージ効果が大きい、などの指摘があった。市も積極的に取り組むべきである。

ふじえ 真理子 議員

市民の政治参画を進めていくために ～子ども・若者の声が活きる豊明市政を～



質問の趣旨

▶50%以下の投票率。投票に行かない行動調査分析と、バスの移動式期日前投票所設置の検討をする考えは。
▶例えば国際子ども平和賞受賞者川崎レナさん（17）を迎え、若者向けに本市でNPOなど組織できる足がかりとなる講演会をやってはどうか。
▶新城市「若者議会」を参考に本市でも常設する仕組みを考えてはどうか。

答弁

▶投票行動調査も移動式投票所設置検討も考えていない。▶選挙啓発については、川崎さんに限らず活躍する若者や高校生の力を借りることも必要。▶要望や意見を聞く機会は今後も設けていくが、若者世代に特化した要望意見を聞く機関設置（若者議会）は考えていない。予算提案権まで彼らに預けることはあってはならない。

コメント

知識は学校で教わる。大事なのは参加者同士が協議し練り上げたものが実現されていく体験の積み重ね。若者議会等は主催者教育の一環となり、投票率向上にもつながってくると思う。意見をただ聴く（陳情）だけでは従来と変わらない。
◇他、「育休時の保育園退園制度の早期廃止を」求めて質問した。

服部 龍一 議員

行政区と小学校区が異なる区の運営等について



質問の趣旨

現在本市における各区の編成は、各町内が基本となっており、小学校区とは異なった編成となっている区が存在している。小学校を利用して行われる区の事業や、避難訓練を行う場合の避難場所が、同じ区の中でも異なることとなり混乱を起こしている現状があるが、見直すことはできないか。

答弁

大規模災害発生時には避難所が開設され、事前に決められた会長と副会長を頂点に運営する「避難所運営委員会」が各避難所で設立される。会長と副会長の担当区は決まっているため運営に支障はない。学区の編成については児童の安全な登校を第一に考えて設定しているため、現状見直し等は考えていない。

コメント

避難所については、距離の近い場所への避難が安全である。大規模災害時の各区内などの連絡体制を明確にすることを要望。また、複数の区がまたがる中央小学校で10月に行われた「中央小学校区避難所開設・運営訓練」のような防災訓練や避難訓練などの定期的な開催も併せてお願いした。

いとう ひろし 議員

部活動の地域移行について



質問の趣旨

スポーツ庁は令和7年度末までに中学校の運動部活動が段階的に地域移行となる提言をしています。小中学校における部活動の地域移行のお考えと、進め方や時期について教えてください。地域へ移行する際に、部活動への参加費や会費、使用する施設はどのようになりますか。

答弁

教員は、休日や経験のない部活動の指導を求められ、大きな業務負担になっています。部活動を地域移行することで、子ども達の多様な体験機会の確保につながると考えます。今後小学校でも検討が必要となります。参加費等はスポーツ庁のガイドラインに沿って検討し、学校や公共施設等を活用し、低額にしていきたい。

コメント

部活動は、持続可能性の面で厳しさを増していますが、専門の指導者による指導で、新たな部活が開設できたり、他校との合同クラブチームも可能となります。指導者の確保等の課題も多々ありますが、地域で育てる意識の下で、児童生徒の望ましい成長を期待し、多様な体験機会の確保を目指したい。

近藤 善人 議員

保育環境の整備について



質問の趣旨

有給休暇が取りづらく、長時間労働が常態化していると言われる保育業界。慢性的な人手不足に陥っている現場も少なくありません。そこで、ICT化による登園時刻管理などの保育環境の整備状況や保育士不足から生じていると思われる待機児童の現状、未満児枠の拡大について問いました。

答弁

保育園のICT化について、まだ導入していない。民間園では取り組んでいるので、本市においても検討していく中で、補助金等が活用できれば活用していきたいと考えている。待機児童については、1歳児で4名、潜在的待機児童は、44名いる。園の拡大については、規模とかもあるもので、すぐに拡大するのは難しい。

コメント

子どもの大切な命を預かる保育士にとって、安全な環境を整えることは最も重要です。昨年、保育園などで子どもがけがをする事故が2,347件で、5名の貴重な命が失われました。学校では、ICT化、少人数学級の導入が進んでいます。保育園においても環境の整備を積極的に進めていただきたい。

一色 美智子 議員

高齢者・障がい者の社会参加促進について



質問の趣旨

- ・聞こえが悪いとコミュニケーション障がい、社会活動の減少等様々な不利益に波及する。そのため、高齢者の補聴器購入時の助成について伺う。
- ・障がい者日常生活用具の給付の見直しについて、暗所視支援眼鏡を給付対象品目に追加できないか伺う。
- ・障がい者手帳アプリミライロIDの導入・推進について伺う。

答弁

- ・高齢者の補聴器購入の助成について、助成制度を実施に向け調査・検討を進めていきたい。
- ・障がい者の方のニーズが高い品目とともに暗所視支援眼鏡を追加について検討をしてみたい。
- ・ミライロIDについて、分かりやすくお伝えしていくため、ホームページ等でお知らせします。

コメント

がん対策の推進について

- ・9価HPVワクチンの接種の積極的勧奨の再開について
- ・男性へのHPVワクチンの接種について
- ・胃がん対策、ピロリ菌検査への補助について
- ・AYA世代（15歳以上40歳未満）のがん患者への助成制度について伺いました。

青木 亮 議員

コロナ第8波とインフルの同時流行に備えた対応について



質問の趣旨

インフルエンザは、12月頃から翌年5月頃まで発生し、特に1月から2月にかけて流行のピークを迎えるが、コロナ禍の過去2年間は、行動制限の影響などでインフルエンザが流行しなかったため、国内で免疫を持つ人が少ないと見られる。今後のコロナとの同時流行が懸念される中、ワクチンの供給量は確保されているか。

答弁

インフルエンザワクチンの供給は、平成27年度以降で今シーズンは過去最大の供給量で、比較的早期にワクチンの供給がある見込みと厚生労働省より通知がきている。また、例年この時期、市民からワクチンの予約ができないという問合せ等が多数寄せられていたが、今年は問合せがないので、順当に確保されている。

コメント

今後の変異コロナの感染拡大の抑制に向け、自分で感染確認に必要な検査キットや市販の解熱鎮痛薬等をあらかじめ購入し、発熱等の体調不良時に備えることも必要ですが、ウイルス感染防止の観点からは、暖房機器や加湿器等を活用しながら小まめに換気することが重要です。実行しましょう。

堀内 ちほ 議員

高齢者の各種手続きについて

（・お亡くなりになられた後の各種手続きのサポート・運転免許証返納手続きについて）



質問の趣旨

- ▶高齢ご夫婦のどちらかが他界されたとき、悲しむ間もなく、様々な手続きを行わなくてははいけません。日時を予約制等にしてサポートをしていただきたい。
- ▶高齢のため運転免許証を返納される方が増えてきました。その手続きを市役所で行うことはできないでしょうか。

答弁

- ▶各種窓口での手続きに際して、移動が困難なお客様には、担当課の職員を呼んで対応しているので、死亡に伴う手続きに特化した窓口の設置の考えはありません。
- ▶運転免許証は公安委員会からの貸与となるものです。返納手続きは公安委員会の専任業務となるため、市役所で手続きすることはできません。

コメント

お亡くなりになられた方の各種手続きについて、サポートを望まれる声を多く聞きます。豊明市ではお困りの方に寄り添いながら行っていますので、お困りの際は窓口でお声掛けください。運転免許証自主返納については、豊明幹部交番でも行うことができますが、郵送または代理人による手続きも可能です。

近藤 ひろひで 議員

送迎バス運行の安全確保について



質問の趣旨

本年も幼稚園の送迎バスで乗車園児の放置による死亡事故が発生してしまいました。そこで、本市の保育園や幼稚園の運行台数や運行形態等について把握しているかを伺いました。市所有のバスでも一部地域の小学生の送迎や、らくらすなどで高齢者の送迎を行っています。事故防止のために安全装置の設置が必要です。

答弁

保育園では送迎バスを運行していません。私立幼稚園のバスの所有台数や運行マニュアルについては把握しています。市が運行しているバスについては、常に危険を伴っているという認識であり、早急に対処すべき案件であると考えています。

コメント

幼児の送迎バスにおける事故は大変悲しいことです。送迎バスは令和5年4月に安全装置設置が義務化される見込みで、設置補助金が予算化されます。本市の送迎バスも常に危険を伴っているという認識であれば、早急に安全装置の装備をしてください。安全マニュアルも再度見直し確認してください。

近藤 千鶴 議員

子育て支援策について



質問の趣旨

日本の持続可能性を保つためには、今の0～2歳児の支援策が手薄となっています。これからは、子どもを産み育てたい人への予見可能性を与える支援が必要です。そこで伺いたいします。産後支援について。伴走型相談支援について。

答弁

宿泊型の産後ケア事業は、特に支援が必要だと判断した方にこの事業を紹介している。伴走型相談支援は既に実施しているものもあるが、今回の国が示している事業案を本市に合った方法で検討し支援を充実していく。出産、子育て応援ギフトは現金給付を基本とし、速やかに実施していく予定である。

コメント

本市の産後ケア事業実施要綱は、近年妊婦の取り巻く状況に変化があるため見直しが必要と考えますので、是非検討をお願いいたします。伴走型相談支援は、今年度内に事業を開始し、対象者に寄り添ってける継続的な支援を要望いたします。

近藤 郁子 議員 重層的支援体制の整備に向けて



質問の趣旨

昨年、社会福祉法が改正され重層的支援体制整備事業が開始されました。年齢や性別等関係なく、直面する困難や生きづらさは一人一人異なり、ニーズとの間にギャップが生じたことが背景にあります。誰ひとり取り残さない社会を目指す豊明市の支援体制整備事業はどのように考え、実施されるのでしょうか。

答弁

今まで問題ごとに、それぞれの担当課が担当してきたが、今後は相談窓口を地域福祉課に置き、ひとりが抱えるいくつかの課題を1つの窓口で情報収集して、コーディネートし、関係機関とも連携を図り、問題解決につなげていくことで、ニーズにあった支援ができるよう支援体制の整備をしていく。

コメント

行政の仕組みは、いわゆる縦割りで、人ひとりが抱える多様で複雑な相談は、窓口になった部課では対応しきれないこともあり、法改正された。始まったばかりだが、国内でも先進的な地域包括的ケアを行ってきた豊明市の今後の取り組みに期待したい。

清水 義昭 議員 4年間の任期中に行った問題提起や提案を振り返り結果の確認をする



質問の趣旨

私が任期中に行った様々な質問について振り返る。高齢者、子ども、防災、地域、歴史資産、行政ICT、物価上昇など多様な質問を行った。そのうちの1つとして、新たに開通した市道桜ヶ丘沓掛線の前後駅南側「南下原信号交差点」における南進路線渋滞について問題提起をした。その後の対応はどのようにされたか。

答弁

指摘の交差点にある信号機については、令和4年2月から時差式に変更されている。時差式が選択されたのは、恐らく直進の渋滞発生率と物理的な経済合理性を考慮されたものと推察している。

コメント

市民の皆様の付託を受けての4年間。ほとんどの定例会議にて一般質問を行いました。行った質問の中での問題提起や提案がその後どのようになったのか、振り返り結果を確認することはとても大切なことです。そこから見えてくる新たな課題。解決のために汗をかくことが市議会議員の仕事となります。

林 ゆきひろ 議員 「市民協働」を推進するために



質問の趣旨

第2次豊明市協働推進計画の中間見直しがあった。市民交流センターは廃止されたが、今後は市民活動を増やしたり、地域の中に入って市民の方が取り組みたいことを後押ししたり、地域の課題を掘り起こしていくことは誰が担うのか。「市民協働」をより推進するために、どのような協働推進施策に取り組むのか質問した。

答弁

市民協働課が外へ出て、現状を把握し、情報収集してカラットの中で活かしていく。ただ、行政が後押しすることには限界がある。自発的な活動に参加していただける土壌がカラットにあるので、そこで新たな団体やコーディネートできる方が出てくると考えている。よい傾向なので、この分野を伸ばしていきたい。

コメント

地域の中に入って、人材や課題の掘り起こしを行うことは、カラットでは難しい。また、支援策なしで自然に市民活動が増えていくとは思えない。今回は様々な支援策を提案した。市民活動は市の財産なので、ぜひ積極的に推進してほしい。その他、本市のインクルーシブ教育の現状などについて質問した。

鵜飼 貞雄 議員 歩行者や自転車の視点に立った環境づくりについて



質問の趣旨

新型コロナウイルスによる新しい生活様式の中で自転車の利便性が見直され、国も自転車通勤・通学への一層の推進を図ることとしています。私も生活の一部に自転車を取り入れ始めました。自転車で走行していると走りづらく危険とを感じる箇所が幾つもあることに気づかされ、交通弱者の視点から質問しました。

答弁

大原池の堤防道路ですが、栄小学校の通学路に指定され、かつ自動車の交通量も多いです。歩行者の安全確保としての整備の必要性は非常に認識しています。一方ため池の堤防道路であり、県事業での洪水吐の改修予定なども絡めて、手法や時期など関係機関と協議を進め方向性を定められるよう努力していきます。

コメント

歩行者や自転車の視点でしか見つけられないことは意外にも多くあります。現在市内の道路パトロールは自動車で行っています。自転車などでのパトロールを取り入れると今まで認識できなかった舗装の段差や穴などの不具合を早期に発見できることでしょうか。この点も前向きに検討していただきたいです。

郷右近 修 議員 市民の生活を支えるひまわりバスの充実を求めて



質問の趣旨

現在なくなった停留所やルートに対して苦情や復活を求める要望は出ていないか。人の移動が複雑な豊明市では停留所を増やして便利にする必要がある。ルートの見直しなどは置いておいて、現在3台のバスの台数を増やすことから始めるべきではないか。

答弁

家の近くのバス停がなくなり不便、停留所の数を増やしてほしいという意見がある一方、路線や停留所を絞って時間短縮を求める意見もあった。バス事業者が撤退する例があり、停留所を増やしても利用されない空のバスを走らせることになる。ひまわりバスの台数を増やすことは考えていない。

コメント

ひまわりバスに加えてチョイソコを運行し、多様な交通の要望に応えるという方向は適切だと考える。今後はそれぞれをどれだけ量的に拡大し、利便性を向上できるかに取り組んでいただきたい。従来の予算規模の範囲内にとどまらないひまわりバス事業へ発展させてほしい。

宮本 英彦 議員 ご存じですか。令和4年度末に家庭系ごみの量が20%削減できないと、赤いごみ袋価格にごみ処理手数料が上乗せされます・・・！



質問の趣旨

平成31年の豊明市家庭系ごみ減量化実施計画にて、1人1日当たりの家庭系ごみの量を令和元年度から4年間で20%削減し410グラムとする。未達成の場合は有料化すると計画された。令和4年度末に達成できなかった場合、有料化するという理解でいいか。また、今後のスケジュールと市民への説明会は行われるのか。

答弁

現在目標期間中であり、本年度末の最終目標20%減量に向け、達成できる見込みで市民の皆さんと一緒に取り組んでいる。達成できなかった場合は有料化を検討する。令和5年6月上旬に達成状況が確定したら結果を市民に報告、説明する。有料化になる場合の検討スケジュールについては未定である。

コメント

令和3年度末の3年間の削減率はわずか2.4%しかない。これは削減効果を判定する4年間の内、3年間は新型コロナによって自宅待機などが余儀なくされたことが、家庭系ごみの排出量に大きな影響を与えていると考える。少なくとも20%の削減期間を1年延長し、令和5年度末とすることを提案しました。

豆知識③ 会議録とは…会議の内容をそのまま記録した公文書のこと。本会議・委員会の会議録は、市議会のホームページで公開しています。

月岡 修一 議員 市民が進める外国人との交流について



質問の趣旨

・市役所や文化会館等の公共施設で自主的に通訳のボランティア活動をする事は認められますか。
 ・保育園や小中学校などで求められれば通訳ボランティア活動をする事は認められますか。
 ・今後、外国人活動の中心となるカラットで通訳ボランティア活動をする事は認められますか。

答弁

・市役所や文化会館等の公共施設はもちろん、保育園や学校でも通訳のボランティア活動にご協力いただけるのであれば非常にありがたいです。
 ・カラットで開催されている日本語教室に参加する外国籍の方たちにボランティアという形で交流を図っていただければ大変有意義です。

コメント

市内には46か国31種類の言語を話す外国籍の方が住んでいます。それぞれの国の言語で話ができたら、親近感が湧き、交流が深まると思います。市内には外国語にたけた日本人も多数います。協力しながら交流を深めることができれば世界中が五風十雨に近づくと考えています。

豊明市内在住・在学・在勤の方から、 表紙を飾る写真・絵画・イラストを募集します。

宛先：〒470-1195 豊明市新田町子持松1番地1
 豊明市議会 議会だより編集委員会
 メール：gikai@city.toyoake.lg.jp

ご応募
お待ちしております！

豊明市にゆかりのあるものや、季節感のある作品をお待ちしています！

氏名・住所・電話番号・作品のタイトル、写真の場合は撮影場所・日時を明記の上、お送りください。作品は直接お持ちいただくか、郵送またはメールでお送りください。メールの容量は5MBまでです。現物の場合、返却のための発送はいたしませんので、掲載日から2カ月以内に引き取りにお越しください。以降は処分させていただきます。ご自身が撮影、制作された、他の場で受賞していない作品に限ります。顔がはっきり分かる人物が写っている場合は本人(未成年者の場合は親権者)の許可を得てお送りください。なお、表紙作品には題字やとじ穴等がかぶること、トリミング等を行う場合もあることをご了承の上、ご応募いただきますようお願い申し上げます。表紙は議会だより編集委員会で選定し、採用された方にはご連絡をいたします。5月1日発行分の締切は3月2日(木)です。
 ※詳しくは豊明市議会のホームページをご覧ください。

Topics

豊ヶ岡学園との親善交流会

令和4年 10/31

10月31日、市内にある豊ヶ岡学園と豊明市議会の交流事業を行いました。新型コロナウイルスの影響もあって令和2年は行われず、令和3年は議員8名の参加が、今年は行動制限がない状態です。ただ、入所している園生さんの数とバランスを取って8名の議員で参加しました。

豊ヶ岡学園は短期義務教育課程及び短期社会適応過程に対応し、比較的短期間で改善更生が可能と判断された少年が入所している施設です。園生さんたちはここで学習指導や職業訓練を受けて、社会復帰を目指しています。

今回は3年ぶりに体を動かす交流も復活。以前はソフトバレーでしたが、パラリンピックでも採用されて

いるポッチャで対戦しました。園生のみなさんも事前に練習して慣れており、大いに盛り上がりました。

後半は市長も参加して懇談を行いました。園生一人一人から質問がありましたが、「議員になってやりがいを感じることは」という問いに「子どもたちの様子を見て学校トイレの洋式化に取り組んだ、実現したときにやりがいを感じた」と答えるなど、体験も含めてお話ししました。今日の交流が社会に出てからの生活に役に立ってほしいです。



総務委員会視察報告

委員長 青木 亮
 副委員長 いとう ひろし
 委員 ごとう 学 宮本 英彦 鶴岡 貞雄 ふじえ 真理子

令和4年 11/2

■投票環境の充実に向けた取り組みについて（豊田市）

①移動式期日前投票所（バス型）について
 バスにパソコンと投票箱を積み、携帯電話が繋がる所であればどこでも移動して投票所を設置することが可能であり、今後は高齢者や交通弱者の方の身近なところへ移動することも視野に入れ、検討していくこと。



②共通投票所について

豊田市駅西口の複合商業施設で共通投票所を設置したことにより、20歳から39歳までの若者層が多く投票した。

■若者議会を中心とした若者施策について（新城市）

新城市長の附属機関である「若者議会」は、新城市の課題をどのようにするのか、また新城の魅力をどのように高めていくのかを、若者目線で発信していく仕組みであるため、若者を政治に参加させる動きになっていることは間違いない。



議会運営委員会視察報告

委員長 近藤 ひろひで 副委員長 中村 めぐみ
 委員 堀内 ちほ 服部 龍一 林 ゆきひろ
 青木 亮 一色 美智子 近藤 善人

令和4年 10/28

■長久手市「議会におけるICTの活用について」

導入については、複数システムのデモを実施して決定し、タブレットは5年リースで貸与されている。タブレット等得意でない議員には事務局、議員間で支援している。紙資料の廃止については、厳しくなくす方向でいくことが重要である。令和5年からは予算書・決算書などを含め完全にペーパーレスにする方向であり、データ化には職員側の理解、協力が必要となる。市全体のペーパーレスやICT導入は議会と市が同じ方向のもとでルール調整を行っている。



■知立市「議会におけるICTの活用について」

過去から研究していて先進地にも複数回視察を行っていたが、コロナ禍での議会運営を維持する必要性が後押しになった。
 タブレットは貸与され、議場への個人のパソコン等の持込みも自由である。通信料の1/2は議員が負担する。議会報告会が年4回実施されていて、おおむね30～40人の参加がありオンラインでの開催実績もある。
 議会内のICTにたけたメンバーが中心になって、議会改革と並行して行っている印象を受けた。



建設文教委員会視察報告

委員長 服部 龍一
 副委員長 林 ゆきひろ
 委員 三浦 桂司 郷右近 修 毛受 明宏 近藤 千鶴

令和4年 10/25・26

■岐阜県瑞浪市 瑞浪北中学校

スーパーエコスクール実証事業 瑞浪北中学校の取り組みについて視察を行った。平成31年に3校が統合して新しく開校した学校で、「せっかく新しい学校を創るのなら日本一の学校を創って欲しい。」との声が上がりに、文部科学省が実施していた「スーパーエコスクール実証事業」に認証され、新築では全国初となった。エネルギー消費量の削減状況は、2019年9月～2020年8月 101%削減、2020年9月～2021年8月 97%削減



■愛知県日進市 日進北中学校、竹の山小学校

小中併設校におけるメリット及び課題について視察

を行った。竹の山地区では、区画整理事業が行われ、児童生徒とも増加し、区画整理地内に学校用地を確保し小中併設型の分離新設校を建設するに至った。日進北中学校には、香久山小学校区の一部生徒が入学する為併設校となった。小中併設により、体育館、屋内プール、グラウンド等施設を充実させる事が出来た。

■愛知県瀬戸市 にじの丘学園

小中一貫校におけるメリット及び課題について視察を行った。市の中心市街地での児童生徒の減少が加速し、学校規模の格差、学校施設の老朽化により計画に至った。9年間を同じ施設で過ごす点を生かし、切れ目のない育成が行われている。地元の木材を内装など随所に使い、木のぬくもりのある学びの環境としている。

豊明市議会議員政治倫理審査会（令和4年12月19日）

令和4年12月15日に、議員より豊明市議会議員政治倫理条例（以下、倫理条例という）に基づく審査請求があり、令和4年12月19日に豊明市議会議員政治倫理審査会を設置し審査を行い、同日審査が終了しましたので報告いたします。（以下、豊明市議会HP審査結果の概要より抜粋）

1 審査請求内容

令和4年12月10日付けの新聞にて、東京高等裁判所から近藤郁子議員の議員報酬と期末手当の仮差し押さえを決定した、との報道があった。この報道が事実であるなら、近藤郁子議員は金銭貸借に不誠実であったのではないか、また、令和3年12月議会で決議した「近藤郁子議員に対し反省を求める決議」の遵守を怠ったのではないかと推察されることから、これらの事項が事実であるなら政治倫理に反する疑いがある。

2 審査の結果

- ・倫理条例第4条第1号及び第3号の規定に違反していること
- ・倫理条例第9条第7項による措置は、第3号一定期間の議会出席の自粛勧告が適当であること、その一定期間とは今期議員の在任期間までとすること

3 審査の経過

豊明市議会議員政治倫理審査会を、令和4年12月19日（月）午前10時より開催した。

(1)委員長および副委員長を互選し、委員長に宮本英彦

- 議員、副委員長に郷右近修議員を選出した。
- (2)審査の対象となる事項及び審査の進め方を確認した。
- (3)審査の方法として近藤郁子議員に事情聴取等必要な調査を行うことを決定した。
- (4)近藤郁子議員から事情聴取を行い、以下の点を確認した。
- ・近藤郁子議員の議員報酬及び期末手当の仮差し押さえは事実であること
 - ・報道された金銭貸借に関し金銭貸借契約書を締結しなかったこと
 - ・現時点で伝えられないことがあること
 - ・今後借金問題で裁判沙汰になるような事案はないこと
 - ・今回の政治倫理審査会の回答に虚偽はないこと
- (5)各会派、各委員より意見を求め、審査会として以下のとおり判断した。
- ・令和3年の審査会に類似する金銭貸借の件で再度審査会が行われたことは極めて重い。
 - ・倫理条例第2条第2項に定める政治倫理に関する疑惑解明について、この度の審査会においても自ら疑惑を晴らそうという誠実さに欠け、令和3年12月の決議を遵守していたとは言い難い。
- (6)以上の議論を踏まえ、採決により審査会の審査結果を前述のとおり決定し、審査会を終了した。

このような行為は法律によって禁止されています。

政治家や候補者に地元のスポーツ大会への差し入れを求めたり、政治家や候補者が開店祝の花輪や祝金などを選挙区の人に贈ったりすることはルール違反です。

贈らない



求めない



受けとらない



令和4年 議会の活動状況

●議会活動の概要

豊明市議会では平成24年に議会基本条例を制定し、通年議会を実施しています。令和4年5月13日から令和5年4月29日までの352日間は令和4年定例会の会期となっています。このほかに「議会運営委員会」や「全員協議会」なども随時開きました。

また、令和4年1月1日から12月31日までに議会で審議した議案は、市長提出案件が92件、議員提出案件が9件であり、提出された請願が5件、陳情が8件でした。

1. 本会議開催状況

会議名	議会期間	日数	本会議日数	傍聴者数
3月定例会議会	2月24日～3月23日	28日	5日	1人
開会議会	5月13日	1日	1日	0人
6月定例会議会	6月3日～6月24日	22日	6日	9人
9月定例会議会	8月25日～9月22日	29日	6日	11人
12月定例会議会	11月29日～12月21日	23日	6日	15人
合計		103日	24日	36人

2. 委員会等開催状況

委員会名	開催数
常任委員会	30回
特別委員会	6回
議会運営委員会	20回
全員協議会	12回
会派会議	20回
常任・特別委員会行政視察	3日
その他の会議	50回

3. 議決状況

市長提案			議員提案		
地方自治法第96条関係（15号を除く）	条例	29件	条例	4件	
	予算	30件	規則	0件	
	決算	9件	修正議案	0件	
	その他	14件	意見書	4件	
専決承認案件		0件	決議	1件	
その他（人事案件等）		10件	その他（動議）	0件	
合計		92件	合計	9件	
議決状況	可決	83件	議決状況	可決	6件
	修正可決	0件		否決	3件
	否決	0件			
	認定・同意等	9件			
	撤回承認	0件			
	継続審査	0件			

日	月	火	水	木	金	土
2/19	20	21 本会議 (議案上程、提案説明)	22	23 天皇誕生日	24 本会議 (一般質問)	25
26	27 本会議 (一般質問)	28 本会議 (一般質問)	3/1 本会議 (一般質問)	2	3 本会議 (議案質疑、委員会付託)	4
5	6 総務委員会	7 健康福祉委員会	8 建設文教委員会	9 予算特別委員会	10 予算特別委員会	11
12	13	14	15	16	17 本会議 (委員長報告、討論、採決) 全員協議会	18

※上記は予定のため、日程等が変更される場合があります。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

どなたでも 傍聴 できます。



- 【本 会 議】：市役所本館4階 議場10時から
- 【委 員 会】：市役所新館4階 第1委員会室10時から
- 【一般質問】：発言順は市議会のホームページで公開します。



本会議や委員会の模様を
インターネットで録画配信中

豊明市議会ホームページ▶本会議・委員会録画中継質疑や答弁の詳細については、会議録で全文を確認できます。会議録は、市役所4階議会図書室、市役所1階市民コーナーで閲覧できます。また、市議会のホームページでの会議録検索システムをご利用ください。

市政に関する 要望



市政に関する要望等を議長あてに文書で直接議会に提出することができます。

請願・陳情の提出

請願書・陳情書は、議会事務局で受付しています。事務処理の都合により各定例月議会の初日の7日前までの提出にご協力ください。

提出後の流れ

- 請願(紹介議員が必要)
- 陳情(紹介議員必要なし)
事務局に持参されたもの

委員会審査

本会議で決定

編 集 後 記

コロナ禍を経験し生活様式も多様化しています。今回の特集記事編集時にもメンバー間でオンラインのやり取りが増え、メリット・デメリットを感じつつも今後の打合せの在り方が変わっていく予感がしました。今年の議会報告会でも多くの方々より貴重なご意見・ご提案をいただきました。会場にお越しいただけない方々のご意見もお聞きできるよう、オンライン等の方法も視野に変えていければと思っています。(鶉飼)

発行：豊明市議会
編集：議会だより編集委員会

電話：0562-92-1121

メール：gikai@city.toyoake.lg.jp

詳しい情報は豊明市議会
ホームページをご覧ください。

豊明市議会 検索



市議会HP

次回の議会だよりは5月1日発行